	No.	20	_	1 =	事務事業	名	庁舎(施	設・設備)の智	き理に	関する事務 <mark>細事</mark>	務事	業名	庁舎(施設	·設備	i)の管理に関	目する事務	公的関与		ノート作		平成3	1年6月	₹21日		
	課名			1 1 11 12 3111			グリ	<mark>ループ</mark> 地域市民			担	当	課長名	鈴	木 博貴	シート作成者名			平野 恒利						
	中华区			0 1 ソ:		フト事業 ○ 3 整備事			事業	5 施設の管理運営			車業温	一十七	□ 1 直営			□ 3 全部委託							
	7	業区分		0 2	施設の	建設	建設 ○ 4 経常的			的事務事業	勺事務事業					事業運営方法		2 -	一部委託		□ 4補助等		F		
				政策目標 7 該当なし										施計	画	事業の開始・終了									
	総合計画		画	施策項目							○ 1該当			年度 ~ 平成 年度 ② 期間設定							なし				
				主	要施策				•			● 2 非	該	¥	+FI +hn 2	+ 🌣	弥富市户	上企在19	9 + 8 Bil						
	個別計画														依拠	去令等									
				対象(誰を・何を)										意図(ど	ういう状態にしたいのか)										
ρ		章業 <i>0</i> 目的		十四山支所庁舎を利用する市民及び業務を行う職員が庁舎を利用しやすいよう庁舎施設・設備を適正(します。													三に維	持管理							
14Z	事業の 内容			·施設 <i>0</i>	・施設設備の維持管理を行います。 ・施設の保守点検業務を委託します。																				
		成果指標		指標名 電気使用量の削減を図る										指標名											
	万旦		•	定の	指標設 定の考 定の考 え方 こ方 で では25年度~平成27年度平均使 平成28年5月より新庁舎完成まで 支所にて一部業務を行っています					で仮移転先の十	単 位	kwh	(指標設 定の考 え方							単位				
	拊		1	平	成 29	年度	平月	成 30 年度		平成 ※ 年度	目標	平成	30 年度	2	平成	29 年度	平成	30 年度	平	成 ※ 年	度目標	平成	30 年度		
	村			実績	積 313,709 積 324,141 目 煙		*	目標	3	300,000		実績		実績		目標	*	目標							
				目標	300,000		*	lyk		IN				目標	目 標		*			173	I I I				
	予:	算費	目		計			一般会計	+		款	2	総務費			項 1	総務管理	里 費		11 +	-四山支	所事	業費		
		<i>)</i> , , , ,							29	年度決算額	491	_		平成	30	年度決算			平			麦 予算			
	直		国•県支出金					1 774		千円	1			1 770		1 120 13	千円			711	. ,,		千円		
	接	1		力債	_					千円						千円						千円			
	事	そ		他特定財源				939 千円						939	千円						千円				
D	業費			般財源						16,081 千円					24,467					千円					
0				†(A)	,,						17,020 千円										0 千円				
	人件 (B								0.236 人					25,406 0.236	人						人				
			止職	貞工数	数·経費					1,628 千円					1,628						0 千円				
		3)	臨時	i職員工数·経費				人		0 千円				人			千円						千円		
	全体事業		事業費(A+B)					18,648 千円						27,034				0 千円							

			チェック項目		-	一次評価			一次評価の説明				二次	(評価	
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	0	はい		● いい	え		支所の維持 要な事業で	特管理業務で す。	. 0	はい	● いいえ	
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	0	はい		● いい	え					はい	● いいえ	
	要性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	•	はい		○ いい	え					はい	● いいえ	
		4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較して ニーズを上回るサービスとなっている。	0	はい		● いい	え				0	はい	● いいえ	
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	はい		€()()	え	多くの市 可欠な事		する必要不	0	はい	● いいえ	
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	はい		€ (1)(1)	え	可八の事	本くり。		0	はい	● いいえ	
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	はい		● いい	え				0	はい	● いいえ	
HECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	はい		€ (1)(1)	え				0	はい	● いいえ	
C		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。	0	目標	に比べ	「て劣ってし	る			で仮移転先の		○ 目標に比べて劣っている		
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。	•	あまり)上が:	っていない		十四山支所にて執務を行ってい るため、消費電力が増えていま				● あまり上がっていない		
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成している。	0	概ね	達成し	ている		酷暑で空	調を使用し	度は夏季の _ハ 電気使用	0	○ 概ね達成している		
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。	0	十分)達成している			量が増えました。			0	○ 十分達成している		
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	はい		● いい	え	維持管理については、概ね妥 当な額と思われます。				はい	● いいえ	
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	はい		○ いい	え	・当な領と心イクイレみり。			0	はい	● いいえ	
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	はい		● いい	え				0	はい	● いいえ	
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	はい		● いい	え					はい	● いいえ	
			一次評価		二次評価										
	=च /:	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	描		必要性		1	有効性 達成度		数率	性	総	:合評価	
	ā '' 1		3 4 2 4 A				4		4	2	4			Α	
		後の	○ 拡大・充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託	托等			拡大∙充		○ 現状		○ 方法改		○ 民間	『委託等	
	方「	句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止			0	縮小		統合/終		○ 廃止/作	•			
ACT-O		面の	本庁業務の十四山支所への移転により消費電力が増えたため、節電のあります。	の必要		二次評価での指摘事項(部長の総括意見) 現在は仮庁舎で多数の課が入っているため、電気の節約は難しい状態である。今									
Z	のた	解決めの計画	・こまめな消灯・適正な冷暖房の使用による節約・クールビズの活用・電灯のLED化		後は電灯のLED化を進め、節約が可能である。										
	備	考						_							